

岡山県

せいきょう連 ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL: 086-221-4301

☆改正生協法の施行により「消費生活協同組合模範定款例」が改正されました。



エッセイ 故郷

最近の政治、経済、社会状況をみていると、この国の将来はどうなるのだろうかと憂えてしまう。この国に住んで、本当に幸せに暮していくのだろうか。

一人ひとりが持っている悩みや痛みをお互いに支え合うやさしさがないなかで、国の将来はあるのだろうか。「誰でもいいから殺したかった」「ホームから人を突き落として刑務所に行きたかった」こんな人間性を喪失した恐ろしい青少年が出現する社会はどうして生まれたのか。

5千万件も行方不明になった年金保険料。相手がよけてくれるだろうと直進するイージス艦。次から次と税金を無駄遣いする官庁。お年寄りは早く死ねと言わんばかりの後期高齢者医療制度。次々に出るうそつき表示。本当にやさしさのない社会になった。

協同組合は、それぞれ同じ思いを持った人たちが、願いを実現するために、弱い力を寄せ合って成り立つ組織だ。

「西暦2000年における協同組合」(1980年)を書いたレイドロー博士は「大都会は多くの住民にとって、孤独と疎外の大海上である。ただ近くに住んでいるというだけで、それ以上のきずなは何もない」として「協同組合が地域社会や人間的なつながりのある村落を作っていくことが必要だ」と述べている。

よりよい社会をつくるための活動もまた私たちの仕事ではないのか。人と人とのつながりを通して、喜びや悲しみや痛みを知り、お互いに支え合うことによって、生きることの充実感を生み出していくのだろうと思う。

(岡山県生活協同組合連合会 顧問 吉永 紀明)

会員生協トピックス

JFE コープ

モニター集会(写真下)

開催日：3月29日（土）職場・地域のモニターが集合し、今年度の業績および来年度の計画案の報告に続き、各グループ毎に意見交換を行ないました。



力二食べ放題ツアー

開催日：3月9日（日）浜坂の広々とした会場で、60分の制限時間有効に使い、腹いっぱいの力二を食べました。

今年もバス2台、人気の旅となりました。 ⇒



おかやまコープ

平和を願い、3. 1ビキニデー企画や沖縄戦跡基地めぐりに参加しました。

●「3・1ビキニデー企画—焼津フィールドワーク」(3/1 焼津市)

原水爆禁止運動の原点となったビキニ事件の被害者の冥福を祈り、核廃絶を願う墓参平和行進には全体で1,500人が参加、2010年の核不拡散条約(NPT)再検討会議で核兵器廃絶の「明確な約束」を実行させるため行動することを誓いました。

●「第25回沖縄戦跡基地めぐり」(3/25~27)

～沖縄を知ることから、これから日本の平和を考える～をテーマ開催されました。

参加者からは、過去の出来事から未来を見つめたい、どんな未来を望むのかを考えるのは自分自身、といった感想が寄せられました。今後予定されている報告会で「オキナワ」を伝えていきます。



津山医療生協

4月6日（日）鶴山公園でWHO世界保健デーにちなんだ青空健康チェックを行いました。

午前10時から12時まで、満開の桜と好天と相まって200人以上の人人がチェックを受けました。今年は肌年齢も加えたため若い人も並んで大盛況でした。↓



津山医療生協の青空健康チェックの様子↑

岡山医療生協

「世界保健デー」の4月7日健康への関心を高めてもらおうと、アムスメール上之町で「まちかど健康チェック」を実施。

医師や看護師ら40人が参加して、血圧や体脂肪測定をはじめ『骨評価』も行い、買い物客の関心を集めました。



岡山医療生協のまちかど健康チェックの様子↑

県労済生協

休日保障設計セミナーを開催しました

全労済 岡山県本部では、ムリ・ムダのない保障を見つけるお手伝いとして保障の見直しセミナー（公的年金制度・保障の仕組み・医療保障の注意点）や、無料保障相談などを開催し、多くの方に参加いただきました。



会員生協トピックス

おかやまコープ

2007年度ユニセフ募金609万734円を(財)日本ユニセフ協会へ贈りました
組合員へ呼びかけ、世界の子どもたちの笑顔のための募金が2007年度もたくさん寄せられました。

【ユセお年玉募金のメッセージより】

“いつかあそぼうね”(かずとより)
“げんきで大きくなってくださいね。
おかげをけんやくして出しましたので、役立て
てください。”
(おばあさんより)

(ユニセフハンドインハンド募金)



三井造船生協

2年前にオープンした「ベリーズひなたぼっこ田井」が好評で、是非、他の地区でも開設して欲しいとの声にお応えするために、2ヶ所目となる「ベリーズひなたぼっこ和田」が2月に開設されました。施設は築70年の平屋の落ち着いた日本家屋です。



ベリーズひなたぼっこ田井の正面玄関↑



募金を手渡す本田専務理事↑



県学校生協

2007年度3学期「一人一品利用運動」

(08年1月20日～2月15日)

結集金額560万円、3%をユニセフ募金とすることでき取り組んできました。

募金額17万円を3月5日、ユニセフ協会岡山県支部に持参しました。

グリーンコープ生協おかやま

2月9日、県内生産者を招いて2008年度に向けた交流集会を開催しました。

寒い天気でしたが、手作りの豚汁や焼肉、たまご料理などに舌鼓を打ちながら交流を深め、今後の事業と活動を元気にすすめていくことを確認しました。



倉敷医療生協

高梁支部は4月7日の世界保健デーに、ゆめタウン高梁で健康チェックを行いました。



取材に来た地元テレビ局の記者が「健康に対してものすごく关心が高いですね」と驚いていました。
夕方のニュースで紹介されました。

岡山大学生協

「4/5,6 の「春はほのぼの交流会 2008」に1703人の新入生が参加しました。

新生活の不安解消と期待増大を目的にした交流会で、スライドでの大学生活紹介・サークル紹介・学部に分かれての交流会などを行いました。



...交流・懇談・学習・研修

●石井 正弘岡山県知事と懇談【2月14日(水)9時25分～9時50分 岡山県庁 知事室】

懇談には、県生協連の会長・副会長(安場・木村・中原・三橋)並びに女性理事3名(平井・吉田・和泉)が出席しました。



福祉事業も子育て支援もいっそう大切に・・・と

話題は、中国産冷凍餃子問題、生協法の改正で県域規制の解除・員外利用範囲が広がったこと、消費者団体訴訟制度施行を受けて消費者ネットおかやまが発足したこと、会員生協で子育てひろばや福祉事業が活発に行われていること、医療制度、医師・看護師不足の問題、消費者被害調査の結果などの紹介がありました。

石井知事からは、生協の福祉事業や子育て支援活動を評価された上で、勤務医の状況・産科小児科医も大変であることは承知している。医師の待遇改善など国への要請・提案を行い、現場の声を反映させていきたい。消費者行政において広報充実の必要性は良く分かったので対応させていただく。

などと述べられました。

●県民生活課との定期懇談会【2月14日 10時～12時 県庁8階会議室】

岡山県より、県民生活課 松尾光義課長ほか3人のご出席、県生協連からは、役員など14名が出席、会員生協の取り組み状況の報告と昨年10月17日に提出していた「県への要望書」に対する回答を中心に質疑、意見交換を行いました。

回答の中からおもな項目

- ①相談窓口を設置している岡山・津山・倉敷市以外の市町村でも、相談員の派遣、研修など支援したい。
- ②BSE全頭検査は20年度も継続する
(回答時は、「適切に対応する」でした)。
- ③協定締結団体との緊急物資の点検は毎年実施している。
また、災害訓練については実践的な訓練に努めたい。
- ⑤災害時の通信手段は、市町村を結ぶ強い通信網とともに、
民間との通信は優先電話の指定を受けるなど通信確保にあたっている。
県民への伝達はHP、携帯などへのメール配信している。
- ⑥レジ袋削減に向け、おかやまエコ事業所小売店101店舗にマイバッグ推進中ステッカーを掲示。
- ⑦後期高齢者医療制度について、県としては新制度が適切に運用されるよう、広域連合、市町村に助言等を行っていきたい。
- ⑧産科については、県の対策協議会に産科医療対策部会を設置、産科医の確保対策を検討中。小児救急については、県下5病院を指定、県北等での研修、夜間受付け体制を整えている。
- ⑨食料自給率の向上では、食育の推進と連携させ、米中心の日本型食生活の推進、学校給食における地場産農産物の利用促進などに努めたい。



挨拶をされる松尾県民生活課長(左)と県生協連 安場会長理事(右)



懇談会の様子！

●県生協連医療部会が鳥取医療生活協同組合を訪問【3月25(火)・26(水)】

訪問研修には、岡山・倉敷・津山三医療生協等から12人の役職員が参加しました。

鳥取医療生協は、この3月、新築移転オープンし、免震構造を採用した10階建ての総合病院です。JR鳥取駅から徒歩10分ほどの旧市内中央に立地、豊富に湧き出る温泉を利用しています。

訪問団一行は、新設の緩和ケア病棟をはじめ院内施設を見学、新築移転オープンに至るまでの経緯や苦労話などをうかがいました。

お話しのなかで、「市民にとっての都市のあり方が論じられ、自治体・行政はもとより、地元商業界や企業の社長さんなどの理解と支援があったこと、このことが、

今日の鳥取医療生協の存在に大きな力になったこと、この地域が『生協のある街』として市民から期待されている」と語っていたことが印象的でした。

私たちは交流を通して、医療生協の理念と普段の活動の結びつきの大切さを学び、役職員のみなさんが、これまでいただいた内外の支援と組合員の苦労や努力に応えようと笑顔でがんばっている様子に元気をもらしながら鳥取を後にしました。



医療生協が地域のシンボルに・・・↑



2008…1月以降のおもな取り組み

●県連・単協役員研修交流会を開催【1月9日(水) オルガホール 参加者は講演会に57名】

安場 靖会長理事の開会挨拶について、岡山県生活環境部県民生活課総括参事の中田 行一氏に来賓としてご挨拶をいただきました。

今回は、講演Ⅰとして、岡山大学資源生物科学研究所教授、(財)おかやま環境ネットワーク理事長の青山

黙先生に「IPCC報告に学ぶ」～健康な地球を～中田総括参事よりご挨拶につまでも～と題して講話いただきました。

今日の地球温暖化をもたらしている原因と影響、問題の克服に向けて、とりわけ行政・企業の役割と国民一人ひとりの自覚と責任をどのように果たしていくかなどについて、国連IPCC報告に基づきながらのお話し。後半は、日本生協連山下俊史会長より「日本の生協のこれから」について、講演をいただきました。



●組合員活動交流集会【1月29日(火) 10:00～12:30 オルガホール】

10会員生協より、253名の参加がありました。

講師に、村中由紀子さん（山陽学園短期大学幼児教育学科教授）を迎えて、「成長しつづける子どもたちへ～学校・友人・家庭を考える～」と題して、講演をしていただきました。

また、今回は、県社会福祉協議会職員の林 武文さんに、「県内の子育て支援活動の現状」についてお話しをいただきました。

林 武文さんの講演⇒



村中由紀子先生 岡山弁も随所に！



3つの会員生協からは、日頃の子育て支援活動の取り組みの発表がされました。



三井造船生協・子育てひろば おかやまコープ・手をつなぐ『子育てひろば』 岡山医療生協・子育て支援

124人もの方々から寄せられた感想の中から

- ・講演も活動報告も「わかりやすく、ユーモアに富んでいて楽しかった」
- ・「今の自分の子育てに、今すぐほしかったステキなお話しでした・・・この出会いに感謝してやみません」
- ・「母親は、子どもを飲み込むほどの愛情をもっている。人からもらっていないものは、人にはあげられない。という言葉が心に残った」
- ・「子育てはもう終わったが・・・孫の成長に役立つばあちゃんになりたいなあと思っている」
- ・「妻は出産のため里帰り、お話しを聞いて”母親”的心理状態の変化を学んだ、・・・妻にとって優しい夫であるよう工夫してみたい」 大勢の方から感動が伝わり、大変好評でした。

日本生活協同組合連合会の山下 俊史会長より下記の文書が寄せられましたので掲載します。

「CO-OP 手作り餃子」重大中毒事故のお詫びと今後について

日本生協連の「CO-OP 手作り餃子」での重大な農薬中毒事故の発生により、健康被害を受けられた方々には、あらためて心よりお詫びとお見舞いを申し上げ、全国の消費者・生協組合員の皆様には、大変なご迷惑やご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

～中略～

全国の生協は、長年にわたり、組合員の皆様とともに商品の学習や普及、工場見学、産地交流を積み重ねるとともに、不必要的添加物の排除や農薬を減らした農産物の提供など、安全・安心な商品の提供に努力してまいりました。日本生協連でも、法的基準に加え独自基準による品質保証体系を設け、科学的視点からコープ商品の安全確保に努力してまいりました。特に商品開発段階での微生物や添加物、残留農薬などの検査、商品の発売後の定期的検査や工場点検などに注力してまいりました。牛肉コロッケ畜種偽装問題への対策として、原料調達先の管理強化等も進めてまいりました。

それにもかかわらず、今回の農薬中毒事故を防ぐことができなかつたことにつきまして、責任を重く受け止めております。とりわけ昨秋、東北地区で「オイルのような臭いがきつくて食べられない」等のお申し出が寄せられておりましたが、日本生協連は、この時点で事態を認識することも原因を特定することもできず、この点を厳しく反省しなければならないと考えております。

1月末の有機リン系農薬中毒事故判明以降、日本生協連は全国の生協とともに、被害拡大防止を最優先し、各生協による電話連絡や訪問、日本生協連組合員サービスセンターによるお問合せ対応など、お詫びと回収に全力をあげてまいりました。組合員の皆様から健康上のお申し出や検査のご要望をいただきました商品について農薬検査を実施し、健康上の影響のない微量検出も含め、検査結果を公表し、原因究明にも協力してまいりました。中国関連商品については、緊急調査として農薬検査・現地工場点検・製造委託先調査を行い、生産の際には立会いと点検を行うことといたしました。

日本生協連の事故対応の検証と今後の抜本的対策提言のために、2月22日に、「日本生協連・冷凍ギョーザ問題検証委員会（略称：第三者検証委員会）」（委員長：吉川泰弘東京大学大学院農学生命科学研究科教授、他委員7名）を設置し、今回の重大事故への対応と評価、品質保証体制の評価と強化に向けての課題、従来の想定の枠を越えた事態への対策のあり方等について、客観的・専門的な見地から検証と検討を行っていただいており、4月10日には中間報告を取りまとめていただきました。

中間報告では、各地の生協・事業連合と日本生協連という複雑な組織構造における、重大クライシスの際の情報共有の脆弱さが指摘されております。とくに、今回の事態の原因については、微量の残留農薬のような通常の品質管理上の問題ではなく、通常の残留では考えがたい高濃度の農薬が食品に混入したもので、食中毒としては極めて特殊な事例であると推測されています。しかし、急性中毒の有症事例の場合は、原因に関わらずクライシス対応が必要であり、日本生協連はこの点で認識と対応が不十分であったと指摘されております。そして、今後に向け、人体に被害を及ぼすようなクライシスへの対応とともに、食品安全管理という観点からも、品質保証体制を強化していくことが必要と指摘されております。5月末には対策等について最終提言をいただくこととなっております。

既に日本生協連では、この「第三者検証委員会」と並行して、強化委員会を設置し、外部専門家や会員生協の協力を得て、今後の品質保証等の課題の具体化を進めてまいりました。ここでの検討をもとに、コープ商品の再構築と、生協への信頼の再形成に向けてとりくみを開始しています。さらに引き続き安全の確保を最優先し、リスク対策や食品安全管理の観点から、現在の商品開発・品質保証・重大事故対応の仕組みを総合的に見直し、抜本的対策を確立していきます。このような考え方のもと、5月に出される「第三者検証委員会」の最終取りまとめと提言にそって対策と計画を具体化し、実行していく決意でございます。

日本生協連会長として、皆様のご心配やご意見ご叱責を真摯に受け止め、品質保証体制の強化を全てに優先して取り組み、コープ商品の安全の再構築に誠心誠意努めてまいりますことをお約束いたします。皆様のご理解ご協力をお願い申し上げ、お詫びとご報告とさせていただきます。

以上

文中、会員生協の総代・組合員リーダーの皆様へのお詫び箇所(中略)は、紙面の関係で割愛させていただきました。また、「第三者検証委員会」の最終報告は、5月末の予定ですので、次号に要旨を掲載させていただきます。

岡山県が「食の安全・安心推進計画」を発表

この推進計画は、一昨年12月、「食の安全・安心の確保及び食育の推進に関する条例」の制定にもとづいてつくられたものです。

平成19年度にスタートした「食育推進計画」に続くもので、県民の健康保護のためにまた一步前進しました。この間の議会、行政関係者各位のご努力に敬意を表します。

推進期間は平成22年度までの3年間で、牛海綿状脳症(BSE)のスクリーニング検査の継続実施などを含む数値目標も盛込まれています。



県生協連(県内12生協が加入)は、県消団連などとともに、食品安全行政は県政のもっとも基本的な行政課題の一つであるとして、「食の安全に関する基本条例」の策定を要望し、パブリックコメントなどを通じて「意見」を提出してきました。これからも、生協など消費者団体と行政の相互協力のもとで、リスクコミュニケーションの充実を図っていくことが期待されています。

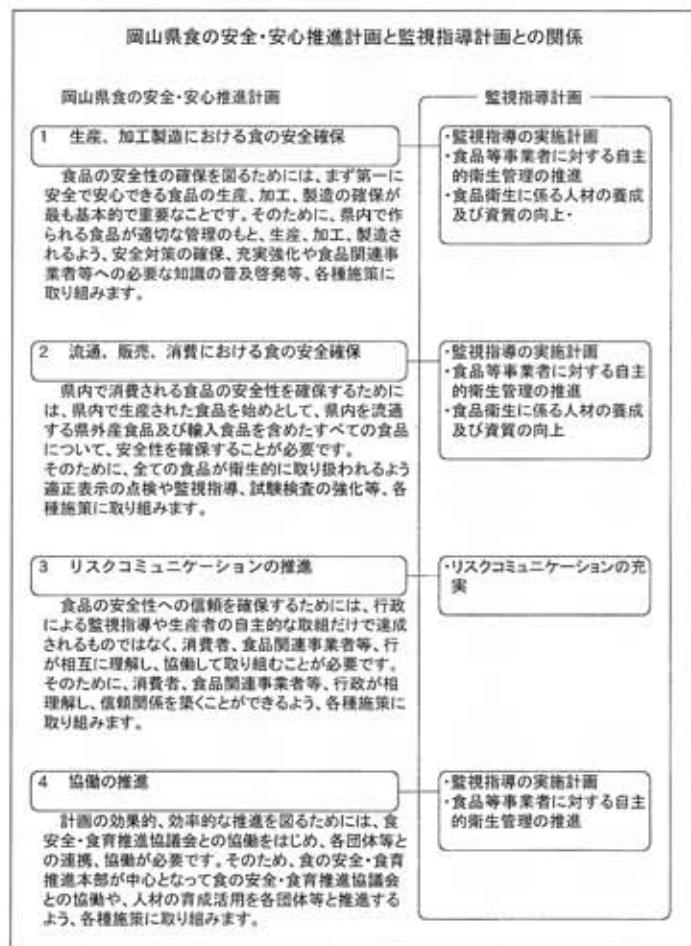
また、岡山県は、食の生産から流通・販売に至る安全確保と県民の食に対する安心の拡大を図るため、食品衛生法第24条第1項の規定にもとづいて「食品衛生監視指導計画」を策定しています。

この計画は、「食の安全・安心推進計画」の中核を担うものとして位置づけられており、平成20年度計画は、

- 監視指導の実施体制
— 4つのポイント —
- 監視指導の実施計画
— 6つのポイント —
- 食品等事業者等に対する自主的衛生管理の推進
— 2つのポイント —
- リスクコミュニケーションの充実
— 2つのポイント —
- 食品衛生に係わる人材の養成及び資質の向上

をもって構成されています。

なお、「食の安全・安心推進計画」と「食品衛生監視指導計画」の関係は右のように表されています。



お知らせ

消費者月間記念企画 学習講演会

とき 6月7日(土)13:00~15:00
 ところ さらめきプラザ 3階(301会議室)
 講演テーマ (仮)「人はなぜ、だまされるのか
 　～消費者の心理とその防止～」
 講師 静岡県立大学 西田 公昭先生
 上記講演の前に、県消費生活センターの佐藤秀樹所長の講演を予定

消費者ネットおかやま総会

とき 6月7日(土)15:15~16:00
 ところ さらめきプラザ3階(301会議室)
 消費者月間記念企画 学習講演会にご参加の方は、できるだけ総会にもご出席ください。
 保育有り 1歳6ヶ月以上のお子様(事前予約一人 百円)
 お問合せ：岡山県消団連(Tel.086-221-4302)

第27回 市民団体による“岡山県民平和のつどい”

とき 7月5日(土)13時~15時(オープニング12:45~ 歌と民謡 岡山大学うたう会「みみんこ」)
 ところ おかやまコープ・オルガホール — ロビーでは、パネル展示「原爆と人間展」・エセグッズも
 参加費 500円(高校生以上) 保育有り 1歳6ヶ月以上のお子様(事前予約一人 100円)

Peace Peace Peace

『核兵器のない世界を! 平和を愛する心は 国境をこえて!』

ゲスト 竹峰誠一郎さん(早稲田大学大学院博士課程在学中、和光大学非常勤講師)ほか

県内会員生協の総代会開催日程と会場

| 生協名 | 回数 | 開催日 | 時間 | 場所 |
|-------------|------|---------|-------------|---------------------------|
| 本花滝生協 | 第59回 | 5/11(日) | 9:30~ | 花滝コミュニティーハウス |
| 岡山大学生協 | 第14回 | 5/28(水) | 18:00~20:00 | 一般教育等 D-114 |
| JFEコープ | 第21回 | 5/31(土) | 9:00~12:00 | JFEスチール鶴の浦 社宅集会場 |
| 津山医療生協 | 第29回 | 5/31(土) | 14:00~17:00 | クリーンヒルス・リージョンセンター(ヘンタホール) |
| 倉敷医療生協 | 第54回 | 5/24(土) | 14:00~17:00 | 倉敷アイビースクエア |
| 岡山医療生協 | 第59回 | 5/31(土) | 13:00~17:00 | JA岡山ビル 7階会議室 |
| 三井造船生協 | 第58回 | 5/24(土) | 9:30~12:00 | 玉野レクセンター・ミーティングホール |
| おかやまコープ | 第56回 | 5/29(木) | 10:00~12:00 | 岡山コンベンションセンター |
| 県学校生協 | 第60期 | 5/30(金) | 15:00~17:00 | ピュアリティまきび |
| クリーンコープおかやま | 第6期 | 6/5(木) | 10:00~12:30 | 県立図書館多目的ホール |
| 全労済生協 | 第51回 | 7/30(木) | 13:00~15:30 | ホテルグランヴィア岡山 |
| セイレイ工業生協 | 第44回 | 8月中(未定) | 17:00~ | セイレイ工業会議室 |

公 告

会員生活協同組合 各位

岡山県生活協同組合連合会

会長理事 安場 靖 (公印省略)

岡山県生協連第49回通常総会の開催について

岡山県生活協同組合連合会定款第46条に基づいて、岡山県生活協同組合連合会第49回通常総会を下記の通り開催します。

記

- 開催日時：2008年6月25日(水) 10:30~12:30
- 開催会場：オルガホール(岡山市奉還町一丁目7-7)
- 議題 第1号議案 2007年度活動報告承認の件
 　　第2号議案 2008年度決算報告及び剰余金処分案承認の件
 　　監査報告
 　　第3号議案 2008年度活動方針決定の件
 　　第4号議案 2008年度予算案並びに役員報酬額決定の件
 　　第5号議案 定款および規約一部改正の件
 　　第6号議案 役員補充選挙の件
- 代議員 総会代議員選出基準にもとづいて、別紙にて会員生協にお知らせします。 以上